

平成29年度富山県総合防災訓練において通信・放送確保訓練を実施

～ 2市町の臨時災害放送局の同時開設訓練、映像伝送システムを用いた遠隔地救援活動の情報収集実演等を実施 ～

北陸総合通信局（局長：濱島 秀夫）は、平成29年9月30日（土）、富山県、富山市及び立山町の主催により実施された富山県総合防災訓練に参加し、アルペンスタジアム会場と立山町役場等において以下の訓練・展示を行いました。

◎ 臨時災害放送局（模擬）の開設訓練

被災想定自治体である立山町及び富山市が、被災者支援情報や生活関連情報を正確かつ迅速に伝達するため、それぞれの臨時災害放送局（FM放送局）を開設する訓練を実施しました。

立山町臨時災害放送局開設訓練では、立山町が当局所有の臨時災害放送局用機器一式を借り受け、立山町役場内に富山シティエフエム（株）の協力を得て臨時サテライトスタジオを設置し、庁舎屋上に送信アンテナを設営。当日の午前8時20分から午前11時過ぎまで臨時災害放送局を模した特別放送を実施しました。

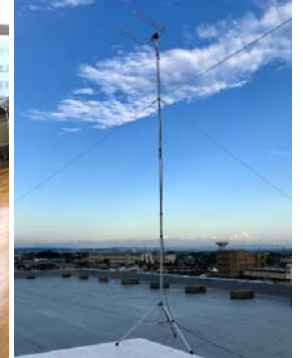
特別放送では、立山町の舟橋貴之町長が出演され、今回の訓練の意義や内容を伝えました。



臨時災害放送局を模した立山町役場会場のサテライトスタジオ。立山町の舟橋町長（右）が出演し、訓練内容を生放送で伝えた。



当局所有の臨時災害放送局機材の本体部（写真左）と立山町役場屋上に設置された送信アンテナ部（写真右）



臨時災害放送局を模したアルペンスタジアム会場のサテライトスタジオ

富山市臨時災害放送局開設訓練では、富山市が富山シティエフエム（株）の協力を得て、アルペンスタジアム会場に臨時サテライトスタジオを設置。同局の既設の送信設備を利用して当日の午前8時30分から正午まで臨時災害放送局を模した特別放送を実施しました。特別放送では、富山市民国際交流協会のご担当者も出演し、災害時の活動内容、外国人避難者へ必要な配慮や注意点などを伝えました。

これら臨時災害放送局の開設に要する地方公共団体から北陸総合通信局への申請手続きは、臨機の措置により口頭で迅速に処理する訓練を併せて実施しました。また、周辺地域の（株）エフエムとなみが運用を支援しました。会場及びその周辺において、小型ラジオやカーラジオで特別放送の聴取ができることを確認しました。

◎ 臨時地デジ中継局（模擬）の開設訓練



NHKの非常用送信車

地上デジタル放送中継局が被災により機能停止したとの想定で、NHK富山放送局が非常用送信車を用いて代替となる中継局を開設する訓練を実施しました。

訓練では、NHK所有の非常用送信車をアルペンスタジアム会場内に設置し、当局の特例措置により口頭での放送局変更申請・許可手続きを行った上で、実際に試験映像を放送しました。会場内では、実際にフルセグやワンセグのテレビで当該放送波を受信、視聴できることを確認しました。

◎ 公共ブロードバンド移動通信システムを用いた情報収集の実演

富山県、富士通（株）及び（株）富士通ゼネラルと共同で、富山港会場に無線機（移動局）を、富山競輪場に無線機（可搬基地局）を、アルペンスタジアム会場に無線機（移動局）をそれぞれ設置しました。

富山港会場の訓練模様をアルペンスタジアム会場内の現地調整所及び北陸総合通信局展示ブース内に設置されたディスプレイに映像として表示しました。



富山港会場の移動局（写真左）。アルペンスタジアム会場の現地調整所訓練での映像表示の様子（写真中、写真右）

◎ 災害対策用移動通信機器等の展示

災害時等に当局から地方公共団体等へ貸与可能な簡易無線機、MCA無線機、衛星携帯電話、災害対策用移動電源車（小型）、ICTユニットを展示しました。



災害対策用移動通信機器等の展示



石井知事（右）が当局ブースを視察された



閉会式の様子

今後も当局では、災害発生に備え平時から地方公共団体、放送事業者等との連携を強化するとともに、情報通信を活用した防
災の各種施策に取り組んでまいります。

お問合せ先：防災対策推進室 TEL 076-233-4479